

排出ガス測定項目 測定場所:赤磐市環境センター

項目	基準値	煙道	令和1年度	
			測定日	濃度
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	1号炉	令和1年5月23日	0.048
		2号炉	令和1年5月24日	0.055

項目	基準値	煙道	令和1年度			
			令和1年5月23日	令和1年8月22日	令和1年11月14日	令和2年2月27日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/m <sup>3</sup> N以下	1号炉	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		1	5	3	12
塩化水素濃度	700mg/m <sup>3</sup> N以下		5	13	7	30
窒素酸化物濃度	250ppm以下		57	49	41	53
一酸化炭素濃度	100ppm以下		2	2	3	2
水銀濃度	50μg/m <sup>3</sup>		0.43		1.1	
項目	基準値	煙道	令和1年5月24日	令和1年8月22日	令和1年11月15日	令和2年2月27日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/m <sup>3</sup> N以下	2号炉	0.005未満	0.005未満	0.006未満	0.005未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		2	1	6	8
塩化水素濃度	700mg/m <sup>3</sup> N以下		6	20	9	14
窒素酸化物濃度	250ppm以下		52	49	48	66
一酸化炭素濃度	100ppm以下		2	2	2	2
水銀濃度	50μg/m <sup>3</sup>		1.0		0.16	

表中の未満は、測定定量下限値以下を示しています。

悪臭測定項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

項 目	基準値(敷地境界上)	令和1年度	
		No.1調査日	No.2調査日
		令和1年7月26日	令和1年7月26日
1 アンモニア	2ppm以下	<0.1	<0.1
2 メチルメルカプタン	0.004ppm以下	<0.0002	<0.0002
3 硫化水素	0.06ppm以下	<0.002	<0.002
4 硫化メチル	0.05ppm以下	<0.001	<0.001
5 二硫化メチル	0.03ppm以下	<0.0009	<0.0009
6 トリメチルアミン	0.02ppm以下	<0.0005	<0.0005
7 アセトアルデヒド	0.1ppm以下	<0.005	<0.005
8 プロピオンアルデヒド	0.1ppm以下	<0.005	<0.005
9 ノルマルブチルアルデヒド	0.03ppm以下	<0.0009	<0.0009
10 イソブチルアルデヒド	0.07ppm以下	<0.002	<0.002
11 ノルマルバレルアルデヒド	0.02ppm以下	<0.0009	<0.0009
12 イソバレルアルデヒド	0.006ppm以下	<0.0003	<0.0003
13 イソブタノール	4ppm以下	<0.09	<0.09
14 酢酸エチル	7ppm以下	<0.3	<0.3
15 メチルイソブチルケトン	3ppm以下	<0.1	<0.1
16 トルエン	30ppm以下	<1	<1
17 スチレン	0.8ppm以下	<0.04	<0.04
18 キシレン	2ppm以下	<0.1	<0.1
19 プロピオン酸	0.07ppm以下	<0.003	<0.003
20 ノルマル酪酸	0.002ppm以下	<0.0001	<0.0001
21 ノルマル吉草酸	0.002ppm以下	<0.00009	<0.00009
22 イソ吉草酸	0.004ppm以下	<0.0001	<0.0001

表中の<は、測定定量下限値以下を示しています。

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

### 騒音測定：施設稼働による影響

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)			
			朝:5時～7時	昼間:7時～20時	夕:20時～22時	夜間:22時～翌5時
東側敷地境界 No.1地点	年4回	6月	44	50	45	40
		9月	53	49	56	55
		12月	45	47	44	36
		3月	43	45	42	34
北西側敷地境界 No.2地点	年4回	6月	47	51	42	42
		9月	50	52	47	44
		12月	49	52	46	44
		3月	50	56	47	44
基準値(敷地境界上)			50	60	50	45

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)	
			昼間:6時～22時	夜間:22時～翌6時
東側民地 No.3地点	年4回	6月	44	38
		9月	53	59
		12月	43	36
		3月	45	36
参考値※1			55	45
岡山 吉井線① No.4地点	年4回	6月	57	51
		9月	60	60
		12月	59	51
		3月	60	50
参考値※1			70	65

※1:参考値は、環境基準等の指定がないため、周辺環境の状況を踏まえて設定しています

調査日:R1年6月4日～5日 9月3日～4日 12月3日～4日 R2年3月3日～4日

No.1、No.3の騒音レベルが環境基準や参考値を上回りましたが、これらの主要な騒音源はカエル、虫、鳥、交通車両に起因する騒音であり、赤磐市環境センター施設稼働に起因する騒音が要因ではありませんでした。

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

### 振動測定：施設稼働による影響

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	基準値(敷地境界上)
東側敷地境界 No.1地点	年1回	昼間:7時~20時	26	60
		夜間:20時~翌7時	<25	55
北西側敷地境界 No.2地点	年1回	昼間:7時~20時	30	60
		夜間:20時~翌7時	25	55
測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	規制値等※1
東側民地 No.3地点	年1回	昼間:7時~20時	25	55
		夜間:20時~翌7時	<25	55
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間:7時~20時	39	55
		夜間:20時~翌7時	28	55

調査結果は、各時間帯の算術平均値を示しています。

表中の<は、測定定量下限値以下を示しています。

※1:No.3、No.4の周辺地点は、振動を感じる感じないの境界とされる振動レベルと比較しています。

調査日:令和1年12月3日~4日

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

騒音測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	騒音レベル(dB)	
			調査結果	基準値
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：6時～22時	67	70
		夜間：22時～翌6時	61	65
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間：6時～22時	62	65
		夜間：22時～翌6時	54	60
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間：6時～22時	72	70
		夜間：22時～翌6時	66	65

調査日：令和1年12月3日～4日

No.6の騒音レベルが基準値(参考値)を上回りましたが、他の交通車両の影響を大きく受けたことに起因します。

振動測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	基準値
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：7時～20時	39	65
		夜間：20時～翌7時	28	60
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間：7時～20時	<25	70
		夜間：20時～翌7時	<25	65
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間：7時～20時	42	65
		夜間：20時～翌7時	30	60

表中の<は、測定定量下限値以下を示しています。

調査日：令和1年12月3日～4日

環境調査項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

大気質測定

調査項目		測定結果						
		No.1 津崎地区	No.2 下市地区	No.3 町苅田地区	No.4 桜が丘地区	No.5 西中地区	No.6 東窪田地区	No.7 尾谷地区
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	測定値	0.012	0.018	0.015	0.014	0.013	0.015	0.0088
	基準値	年平均値0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下						
硫黄酸化物(ppm)	1時間最高値	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002
	基準値	0.1ppm以下						
	日平均最高値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	基準値	0.04ppm以下						
塩化水素(ppm)	期間平均値	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	参考値	0.02ppm以下						
窒素酸化物(ppm)	日平均最高値	0.003	0.005	0.004	0.004	0.002	0.004	0.005
	基準値	0.04ppm以下						
浮遊粒子状物質(mg/m <sup>3</sup> )	1時間最高値	0.085	0.075	0.070	0.069	0.123	0.110	0.083
	基準値	0.20mg/m <sup>3</sup> 以下						
	日平均最高値	0.025	0.029	0.028	0.029	0.033	0.026	0.029
	基準値	0.10mg/m <sup>3</sup> 以下						

調査日：R1年11月22日～28日

表中の<は、測定定量下限値以下を示しています。

【測定場所】

津崎(津崎コミュニティハウス)、下市(中央公民館)、町苅田(石相小学校)、桜が丘(桜が丘運動公園)、西中(西山公民館)、東窪田(岡山県農林水産総合センター)、尾谷(尾谷コミュニティハウス)

環境調査項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

ダイオキシン類濃度調査

媒体	調査回数	令和1年度			
		調査地点	試料採取日	調査結果	基準値
水質 (pg-TEQ/L)	年1回	B-3 防災調整池放流口	令和1年11月19日	0.045	1
水質 (pg-TEQ/L)	年1回	B-1 井戸	令和2年1月23日	0.021	1
		B-2 井戸	令和2年1月23日	0.021	
土壌 (pg-TEQ/g)	年1回	C-1 田	令和2年1月30日	21	1,000
		C-2 田	令和2年1月30日	29	
		C-3 田	令和2年1月30日	17	

田の土壌測定値に若干差がありますが、この要因は自然界に存在するものに加え、稲作での除草剤の使用、農業用水としての田への引き込み(水中にもダイオキシンが溶け込みやすい)など長年にわたり蓄積されたことに起因するものと考えられます。